

名古屋東山周辺の昆虫相

II. 甲虫目 (5) ハムシ科

内 藤 通 孝*

Insect Fauna around Higashiyama in Nagoya

II. Coleoptera (5) Chrysomelidae

Michitaka NAITO

はじめに

「名古屋東山周辺の昆虫相」各論の第5回として、ハムシ科 Family Chrysomelidae を取り上げる。ハムシ科は世界で約5万種、日本からは約500種が知られている。幼虫・成虫ともに、全て植物食性であり、農業害虫として知られる種も多い。大部分の種は幼虫・成虫ともに葉を食べるが、花粉や花卉を食する種もある。ハムシは、漢字で「葉虫」だが、『広辞苑 (第5版)』では「金花虫」とも当てられており、字の如く、小さな宝石のように美しく輝く種が多い。

『愛知県の昆虫』¹⁾では、ハムシ科の199種が愛知県から記録されている。内訳は、モモブトハムシ亜科 Subfamily Zeugophorinae 3種、カタビロハムシ亜科 Subfamily Megalopodinae 1種、ネクイハムシ亜科 Subfamily Donaciinae 4種、クビボソハムシ亜科 Subfamily Criocerinae 14種、ナガツツハムシ亜科 Subfamily Clytrinae 5種、ツツハムシ亜科 Subfamily Cryptocephalinae 14種、コブハムシ亜科 Subfamily Chlamisinae 2種、ツヤハムシ亜科 Subfamily Lamprosomatinae 3種、サルハムシ亜科 Subfamily Eumolpinae 20種、ホソハムシ亜科 Subfamily Synetinae 2種、ハムシ亜科 Subfamily Chrysomelinae 16種、ヒゲナガハムシ亜科 Subfamily Galerucinae 42種、ノミハムシ亜科 Subfamily Alticinae 57種、トゲハムシ亜科 Subfamily Hispinae 5種、カメノコハムシ亜科 Subfamily Cassidinae 11種である。名古屋市からは、クビボソハムシ亜科 4種、ナガツツハムシ亜科 3種、ツツハムシ亜科 3種、コブハムシ亜科 1種、ツヤハムシ亜科 1種、サルハムシ亜科 8種、ハムシ亜科 6種、ヒゲナガハムシ亜科 12種、ノミハムシ亜科 8種、トゲハムシ亜科 2種、カメノコハムシ亜科 3種の合計51種の記録がある (表)。ハムシ科は、数 mm 以下の微小な種が多いために同定が難しく、また、見逃されているものも多いと考えられる。

* 生活科学部 管理栄養学科

表 名古屋市におけるハムシ科の記録

種名	既知産地	標本	本報告
クビボソハムシ亜科 Criocerinae			
アカクビナガハムシ <i>Lilioceris subpolita</i>			●
キバラルリクビボソハムシ <i>Lema concinnipennis</i>		○	○
アカクビボソハムシ <i>Lema diversa</i>	○		
キベリクビボソハムシ <i>Lema adamsii</i>			●
ヤマイモハムシ <i>Lema honorata</i>	○		○
トホシクビボソハムシ <i>Lema decempunctata</i>	○		○
ナガツツハムシ亜科 Clytrinae			
ヨツボシアカツツハムシ <i>Coptocephala orientalis</i>	○		
ムナキルリハムシ <i>Smaragdina semiaurantiaca</i>		○	○
キイロナガツツハムシ <i>Smaragdina nipponensis</i>	○		○
ツツハムシ亜科 Cryptocephalinae			
バラルリツツハムシ <i>Cryptocephalus approximatus</i>	○	○	○
キアシルリツツハムシ <i>Cryptocephalus fortunatus</i>	○		
クロボシツツハムシ <i>Cryptocephalus signaticeps</i>	○		○
タテスジキツツハムシ <i>Cryptocephalus nigrofasciatus</i>			●
カシワツツハムシ <i>Cryptocephalus scitulus</i>			●
ジュウシホシツツハムシ <i>Cryptocephalus tetradecaspilotus</i>			●
コブハムシ亜科 Chlamisinae			
ムシクソハムシ <i>Chlamisus spilotus</i>	○		
ツバキコブハムシ <i>Chlamisus lewisii</i>			●
ツヤハムシ亜科 Lamprosomatinae			
ドウガネツヤハムシ <i>Oomorphoides cupreatus</i>		○	○
サルハムシ亜科 Eumolpinae			
ウスイロサルハムシ <i>Basilepta pallidula</i>	○	○	
アオバネサルハムシ <i>Basilepta fulvipes</i>	○	○	○
ヒメキバネサルハムシ <i>Pagria signata</i>			●
ドウガネサルハムシ <i>Scelodonta lewisii</i>	○		○
クロオビカサハラハムシ <i>Hyperaxis fasciata</i>	○		○
マダラアラゲサルハムシ <i>Demotina fasciculata</i>			●
カサハラハムシ <i>Demotina modesta</i>	○	○	○
キカサハラハムシ <i>Xanthonia placida</i>	○		
アカガネサルハムシ <i>Acrothinium gaschkevitchii</i>	○	○	
ケブカサルハムシ <i>Lypsthes lewisii</i>			●
イモサルハムシ <i>Colasposoma dauricum</i>	○		○
ハムシ亜科 Chrysomelinae			
コガタルリハムシ <i>Gastrophysa atrocyanea</i>	○		
ヨモギハムシ <i>Chrysolina aurichalcea</i>	○		○
ハッカハムシ <i>Chrysolina exanthematica</i>	○		
ヤナギハムシ <i>Chrysomela vigintipunctata</i>	○		
フジハムシ <i>Gonioctena rubripennis</i>	○	○	○
ヤツボシハムシ <i>Gonioctena nigroplagiata</i>	○		
ヒゲナガハムシ亜科 Galerucinae			
イチゴハムシ <i>Galerucella grisescens</i>	○	○	○
サンゴジュハムシ <i>Pyrrhalta humeralis</i>	○	○	○
ウリハムシ <i>Aulacophora indica</i>	○		○

名古屋東山周辺の昆虫相

クロウリハムシ <i>Aulacophora nigripennis</i>	○		○
アトボシハムシ <i>Paridea angulicollis</i>	○		
クワハムシ <i>Fleutiauxia armata</i>	○	○	○
キアシヒゲナガアオハムシ <i>Clerotilia flavomarginata</i>		○	○
ハンノキハムシ <i>Agelastica coerulea</i>		○	
フタスジヒメハムシ <i>Medythia nigrobilineata</i>	○	○	○
ウリハムシモドキ <i>Atrachya menetriesi</i>	○		
ホタルハムシ <i>Monolepta dichroa</i>	○		
イタドリハムシ <i>Gallerucida bifasciata</i>		○	
ノミハムシ亜科 Alticinae			
コカミナリハムシ <i>Altica viridicyanea</i>		○	
カミナリハムシ <i>Altica cyanea</i>	○		
アラハダトビハムシ <i>Zipangia lewisi</i>			●
サメハダツブノミハムシ <i>Aphthona strigosa</i>			●
チャバネツヤハムシ <i>Phygasia fulvipennis</i>	○		
クワノミハムシ <i>Luperomorpha funesta</i>	○		
キスジノミハムシ <i>Phyllotreta striolata</i>	○		
オオバコトビハムシ <i>Longitarsus scutellaris</i>			●
キバネマルノミハムシ <i>Hemipyxis flavipennis</i>			●
ヒメドウガネトビハムシ <i>Chaetocnema concinnicollis</i>			●
ルリナガスネトビハムシ <i>Psylliodes bretteghami</i>	○		○
ナスナガスネトビハムシ <i>Psylliodes angusticollis</i>	○		
ルリマルノミハムシ <i>Nonarthra cyanea</i>	○	○	○
トゲハムシ亜科 Hispininae			
クロトゲハムシ <i>Hispellinus moerens</i>	○		
カタビロトゲハムシ <i>Dactylispa subquadrata</i>	○		○
カメノコハムシ亜科 Cassidinae			
カメノコハムシ <i>Cassida nebulosa</i>	○		
ヒメジンガサハムシ <i>Cassida fuscorufa</i>	○		○
ヒメカメノコハムシ <i>Cassida piperata</i>	○		○
セモンジンガサハムシ <i>Cassida versicolor</i>			●
イチモンジカメノコハムシ <i>Thlaspida cribrata</i>			●

「既知産地」の○は、『愛知県昆虫誌』に記載があるもの。

「標本」の○は、同書に標本の存在が記録されているもの。

「本報告」の○は本論文で記録する種のうち、同書に記録のあるもの、●は記録のないもの。

観察記録

分類・学名・和名は、原則として『日本産ハムシ類幼虫・成虫分類図説』²⁾および『原色日本甲虫図鑑(Ⅳ)』³⁾に依った。古いものは採集し、標本として保管しているものが多い。2002年からはデジタルカメラによる写真記録を原則とし、死骸や種名確認等のやむを得ない場合は標本として保存している。生態写真の撮影および標本の採集・保管については、特に記載のないものは筆者による。

表記は簡略にするため、以下の原則に従った。

例数、性（雌雄を鑑別した場合のみ♂、♀の記号を入れた）、採集（観察）年月（日）、観察場所（名古屋市を省略）の順に記した。観察年月日は8桁（年月日の場合）または6

桁（年月の場合）で示した。例えば、「2 ex 19970727 昭和区八事本町興正寺」であれば、2 例（雌雄区別せず）で、1997 年 7 月 27 日に名古屋市昭和区八事本町興正寺の境内で記録したことを示している。

体長は、標本の実測とともに括弧内に文献による数値を示した。ハムシ科は小さい種が多いため、実測は概の値である。食草は、主に文献 2), 3) に依った。分布は、名古屋市・愛知県については文献 1) を、日本・世界については文献 2), 3) を参考にした。名古屋市の記録がない種には学名に*を付した。

クビボソハムシ亜科 Subfamily Criocerinae

1 アカクビナガハムシ *Liliocerus subpolita**

観察・写真撮影：1 ex 20070709 千種区東山公園（写真 1a：サルトリイバラの食痕）；1 ex 20080716 千種区東山公園（写真 1b, 1c：腹面）

標本：1 ex 20030330 名東区藤巻町；1 ex 20070707 千種区東山公園

『愛知県の昆虫』¹⁾によると、尾張地方からの記録はない。体長 9～11（7～10）mm。体腹面は一般に赤褐色、中・後胸側方部は黒色で、腹部に左右対の黒紋を有する。食草：サルトリイバラ（ユリ科）、シオデ（ユリ科）。東山周辺ではサルトリイバラで見かける。3 月に成虫を採集しているので、成虫で越冬すると考えられる。分布：本州・四国・九州等。

2 キバラルリクビボソハムシ *Lema concinnipennis*

標本：1 ex 19930620 昭和区八事本町興正寺（写真 2）

体長 6（5.0～6.5）mm。体腹面は黒色、腹部末端 3 節は黄褐色。食草：ツユクサ。分布：北海道・本州・四国・九州等の他、朝鮮半島・中国・台湾・フィリピンに分布する。

3 キベリクビボソハムシ *Lema adamsii**

観察・写真撮影：1 ex 20050806 昭和区八事本町興正寺（写真 3a）

標本：1 ex 19960526 昭和区八事本町興正寺（写真 3b）

『愛知県の昆虫』¹⁾によると、名古屋市からの記録はない。体長 6（5.4～6.1）mm。体腹面は、黒色の中・後胸以外は赤褐色。体背面の斑紋には変異が大きい。食草：ヤマノイモ。分布：本州・四国・九州等の他、朝鮮半島・中国に分布する。

4 ヤマイモハムシ *Lema honorata*

観察・写真撮影：1 ex 20110723 千種区東山公園（写真 4a）

標本：1 ex 19910519 昭和区隼人町；♂ 2 ♀ 19930609 昭和区八事本町興正寺（写真 4b, c）；2 ex 19960526 昭和区八事本町興正寺；1 ex 20090705 昭和区八事本町興正寺；1 ex 20100610 昭和区八事本町興正寺

体長 5～7（5.0～6.2）mm。♀（写真 4b）の方が♂（写真 4c）よりもやや大型である。食草：ヤマノイモ。分布：本州・四国・九州等の他、朝鮮半島・中国・台湾に分布する。

5 トホシクビボソハムシ *Lema decempunctata*

標本：1 ex 19920628 瑞穂区春山町（写真 5）

体長 5（4.5～5.8）mm。上翅の黒紋は変異に富み、消失することもある。食草クコ。分布：本州・四国・九州の他、朝鮮半島・中国・シベリア・モンゴルに分布する。

ナガツツハムシ亜科 Subfamily Clytrinae

6 ムナキルリハムシ *Smaragdina semiaurantiaca*

標本：1 ex 19900520 昭和区南山町（モクシュンギク，俗称マーガレット，の花上で採集）；1 ex 19910427 昭和区滝川町（写真6a, 6b：頭部拡大）

体長5～6（4.5～6.2）mm。頭部（写真6b）・体腹面は黒青色。食草：ヤナギ，カンバの類。分布：本州・四国・九州の他，朝鮮半島・中国に分布する。

7 キイロナガツツハムシ *Smaragdina nipponensis*

標本：1 ex 19910520 昭和区滝川町（燈火飛来）（写真7a）；1 ex 20070519（写真7b, d）千種区東山公園；1 ex 20090429 昭和区八事本町興正寺（写真7c）

体長5.5～6（5.2～6.0）mm。頭部・体背面は黄褐色ないし赤褐色。ただし，生存時に赤褐色の個体（写真7d）も死後には黄褐色に変色した（写真7b）。体腹面・肢の色彩には変異が大きく，黄褐色ないし暗褐色。食草：イヌシデ（カバノキ科）・クリ・ナラ・クヌギ・ミズキ・ヤマザクラ・カワヤナギ等。分布：本州・四国・九州等の他，中国・台湾に分布する。

ツツハムシ亜科 Subfamily Cryptocephalinae

8 バラルリツツハムシ *Cryptocephalus approximatus*

標本：1 ex 20110604 千種区東山公園（写真8）

体長：5（3.5～4.5）mm。頭部は前頭・頭頂を除き黄褐色。食草：バラ・コナラ・ハギ・フジ等。分布：本州・四国・九州。

9 クロボシツツハムシ *Cryptocephalus signaticeps*

観察・写真撮影：1 ex 20100418 昭和区八事本町興正寺（写真9a）；1 ex 20100516 昭和区八事本町興正寺（写真9b）

標本：♂♀ 19930505 昭和区八事本町興正寺（写真9c：♀，9d：♂）；2 ex 19960526 昭和区八事本町興正寺；20100607 昭和区滝川町

体長4～6（4.5～6.2）mm。腿節末端部に白紋を有する。♀（写真9c）の方が♂（写真9d）よりも大型である。興正寺や東山周辺ではクヌギの ^{ひこげえ} 藪に見られることが多い。食草：ナシ・クリ・クヌギ・ハギ・カマツカ（バラ科）。分布：本州・四国・九州。

10 タテスジキツツハムシ *Cryptocephalus nigrofasciatus**

標本：1 ex 20090714 昭和区滝川町（8階自宅に飛来）（写真10）

『愛知県の昆虫』¹⁾によると，奥三河で採集されるが少ないという。尾張地方での記録はない。体長2（2.0～3.0）mm。中・後胸腹側・第5節を除く腹部は黒色。上翅の黒条は殆ど消失することもある（筆者は岐阜県中津川市で黒条の消失した個体を得ている）。食草：ヤマハギ・ハシバミ（カバノキ科）・ヤナギ等。分布：本州・四国・九州の他，中国・サハリン・モンゴルに分布する。

11 カシワツツハムシ *Cryptocephalus scitulus**

標本：1 ex 20110702 千種区東山公園（写真11）

『愛知県の昆虫』¹⁾によると，尾張地方からの記録はない。体長4（3.5～4.8）mm。体腹面の他，頭部・肢は全体黄褐色。食草：クヌギ・ミズナラ等。分布：北海道・本州・四国・九州等。

12 ジュウシホシツツハムシ *Cryptocephalus tetradecaspilotus**

標本：1 ex 20100721 千種区東山公園（写真12）

『愛知県の昆虫』¹⁾によると、愛知県では東三河（作手村）の記録があるのみである。体長4（3.7～4.7）mm。食草：マルバハギ（マメ科）。分布：本州・四国・九州の他、台湾・中国東部。

コブハムシ亜科 Subfamily Chlamisinae

虫糞様の外観により、他の亜科とは容易に区別できる。『愛知県の昆虫』¹⁾で名古屋市内から記録されている1種の和名はムシクソハムシである。

13 ツバキコブハムシ *Chlamisus lewisii**

観察・写真撮影：1 ex 20110828 千種区東山公園（コウゾの葉上）（写真13a, 13b：側面）

標本：1 ex 20010430 昭和区八事本町興正寺

『愛知県の昆虫』¹⁾によると、名古屋市からの記録はない。体長4（3.5～4.5）mm。食草：ツバキ。分布：本州・四国・九州等の他、台湾に分布する。

ツヤハムシ亜科 Subfamily Lamprosomatinae

14 ドウガネツヤハムシ *Oomorphoides cupreatus*

標本：1 ex 20090430 昭和区八事本町興正寺（写真14）；1 ex 20110626 千種区東山公園

体長2.5～3（2.8～3.3）mm。体背面の色彩には銅黒色と青藍色の型があるが、東山周辺の個体は銅黒色である。食草：タラノキ（ウコギ科）。分布：北海道・本州・四国・九州等の他、朝鮮半島に分布する。

サルハムシ亜科 Subfamily Eumolpinae

15 アオバネサルハムシ *Basilepta fulvipes*

標本：1 ex 19870703 昭和区滝川町（写真15a）；1 ex 19990626 昭和区八事本町（写真15b）；1 ex 20080518 昭和区八事本町興正寺；1 ex 20080608 昭和区八事本町興正寺（写真15c）；1 ex 20090626 千種区東山公園

体長3～4（3.0～4.5）mm。色彩変異が多く、頭部・前胸背板・上翅は青・緑・銅・赤・黄色などの組み合わせがあり、肢色も赤褐色から黒色まで変異がある。食草：ヨモギ。分布：北海道・本州・四国・九州等の他、朝鮮半島・シベリア・モンゴル・中国・台湾に広く分布する。

16 ヒメキバネサルハムシ *Pagria signata**

標本：1 ex 20080518 昭和区八事本町興正寺（写真16a, 16b）

『愛知県の昆虫』¹⁾によると、名古屋市の記録はない。体長2.5（1.8～2.4）mm。色彩変異が多い。ダイズの害虫として知られる。分布：本州・四国・九州等の他、朝鮮半島・シベリア・中国・台湾・インド・ミャンマー・東南アジアに広く分布する。

17 イモサルハムシ *Colasposoma dauricum*

観察・写真撮影：1 ex 20080608 千種区東山公園

標本：♂ 20090608 昭和区滝川町（内藤美智子採集）（写真17a）；♀ 20090608 千種区東山公園（写真17b）

体長5.5～6 (5.3～6.0) mm。銅金色(写真17a)と青緑色(写真17b)の個体がある。食草：サツマイモ、ヒルガオなど。分布：本州・四国・九州等の他、シベリア・中国・モンゴルに分布する。

18 ドウガネサルハムシ *Scelodonta lewisii*

観察・写真撮影：1 ex 20070707 千種区東山公園(イタドリの葉を食べるドウガネサルハムシ, 写真18a)

標本：2 ex 200006 昭和区八事本町興正寺(写真18b, 18c)；1 ex 20060527 千種区東山公園；1 ex 20090626 千種区東山公園(写真18d)

体長3～4 (3.2～4.0) mm。体背面の色彩には変異が多く、銅金色(写真18b, 18c)の他、赤銅、青緑色(写真18d)等の個体もある。食草：ノブドウ等。分布：本州・四国・九州等の他、中国・台湾に分布する。

19 クロオビカサハラハムシ *Hyperaxis fasciata*

標本：1 ex 19890422 昭和区滝川町(写真19)

体長4 (4.2) mm。後方部に黒色の横帯がある。食草：カシワ類。分布：本州・四国・九州等の他、中国・台湾に分布する。

20 マダラアラゲサルハムシ *Demotina fasciculata**

観察・写真撮影：1 ex 20070610 千種区東山公園(写真20)；1 ex 20100522 千種区星が丘元町；1 ex 20110427 千種区東山公園(クヌギ若葉上)；1 ex 20110514 千種区東山公園；1 ex 20110522 千種区東山公園

標本：1 ex 19910818 昭和区滝川町；1 ex 19980812 昭和区滝川町；1 ex 20110430 千種区東山公園；1 ex 20110822 千種区東山公園(クヌギ葉の若葉上で採集)

『愛知県の昆虫』¹⁾によると、名古屋市の記録はない。東山公園ではクヌギの葉に見られる。体長3.5～4 (3.3～4.2) mm。食草：カシ類・チャノキ(ツバキ科)。分布：本州・四国・九州等・中国南部。

21 カサハラハムシ *Demotina modesta*

標本：1 ex 20030726 昭和区八事本町興正寺(写真21)

体長3 (3.0～4.0) mm。食草：カシワ。分布：本州・四国・九州・朝鮮半島・中国。

22 ケブカサルハムシ *Lypesthes lewisii**

観察・写真撮影：1 ex 20050417 昭和区八事本町興正寺；1 ex 20080427 昭和区八事本町興正寺(写真22)

標本：1 ex 19990503 昭和区八事本町興正寺；1 ex 20000507 昭和区八事本町興正寺

『愛知県の昆虫』¹⁾によると、三河での記録はあるが、尾張での記録はない。体長6 (7.0～8.0) mm。食草：タブノキ(クスノキ科)等。分布：本州・四国・九州等・中国。

ハムシ亜科 Subfamily Chrysomelinae

23 ヨモギハムシ *Chrysolina aurichalcea*

観察・写真撮影：1 ex 20110519 千種区東山公園(ヨモギ葉上, 写真23a)

標本：1 ex 19910519 昭和区隼人町；1 ex 19921023 昭和区滝川町；1 ex 19961004 昭和区滝川町

体長8～9 (7～10) mm。食草：ヨモギ等。主に青黒型(写真23a)と銅金型(写真

23b) があり、青黒型が銅金型に対して優性である。日本海側では大部分の地域で青黒型の頻度が90%以上で、太平洋側では銅金型が30~60%とされるが^{4,5)}、名古屋地方では、殆どが青黒型である⁶⁾。分布：北海道・本州・四国・九州等の他、朝鮮半島・シベリア・モンゴル・ヨーロッパ・中国・台湾・ベトナム・ラオスに広く分布する。

24 フジハムシ *Gonioctena rubripennis*

観察・写真撮影：1 ex 20080530 名東区植園町 (写真24a, 24b：側面)

体長 (4.5~6.0) mm。上翅全体が赤い赤色型と、上翅が黒く、周囲に赤色ないし橙色の縁取りがある縁取型とがあるが、今までに観察したものは、縁取型である。食草：フジ等。分布：北海道・本州・四国・九州等。

ヒゲナガハムシ亜科 Subfamily Galerucinae

25 イチゴハムシ *Galerucella grisea*

標本：1 ex 19910618 昭和区滝川町；1 ex 19930620 昭和区滝川町

体長 4 (3.7~5.2) mm。食草：ギシギシなどのタデ類・オランダイチゴ。分布：北海道・本州・四国・九州等の他、朝鮮半島・中国・台湾・サハリン・シベリア・モンゴル・ヨーロッパに広く分布する。

26 サンゴジュハムシ *Pyrrhalta humeralis*

観察・写真撮影：1 ex 20080729 昭和区滝川町 (写真26)

標本：1 ex 19900818 昭和区南山町；1 ex 19910620 昭和区滝川町；1 ex 19911013 昭和区滝川町；1 ex 19930620 昭和区八事本町興正寺；1 ex 19930725 昭和区川名山町；1 ex 19960925 昭和区滝川町；1 ex 19990503 昭和区滝川町；1 ex 20010610 昭和区滝川町；1 ex 20070630 昭和区滝川町

体長5.5~7 (5.8~6.8) mm。食草：サンゴジュ・ガマズミ (スイカズラ科)。生垣にサンゴジュが利用されることが少なくなったためか、最近は見かけることが少なくなった。分布：北海道・本州・四国・九州等の他、中国・台湾に分布する。

27 ウリハムシ *Aulacophora indica*

観察・写真撮影：1 ex 20100829 昭和区八事本町興正寺 (写真27)

標本：1 ex 19901120 (~19910908) 昭和区滝川町；1 ex 19911117 (~19921121) 昭和区滝川町；1 ex 1963 昭和区

体長 7~8 (5.6~7.3) mm。ウリ類の害虫として知られる。秋に採集した個体は、飼育下では翌年の秋まで生存する。分布：本州・四国・九州等の他、朝鮮半島・中国・台湾・南アジア・東南アジア、オセアニアに広く分布する。

28 クロウリハムシ *Aulacophora nigripennis*

観察・写真撮影：1 ex 20090831 千種区東山公園 (写真28)

標本：1 ex 20090419 昭和区滝川町

体長 6 (5.8~6.3) mm。ウリ類の害虫として知られる。6月に採集した個体は、飼育下では翌年の11月まで生存した。分布：本州・四国・九州等の他、朝鮮半島・シベリア東部・中国・台湾に分布する。

29 クワハムシ *Fleutiauxia armata*

観察・写真撮影：1 ex 20080502 名東区藤巻町 (写真29a)

標本：1 ex 19910427 昭和区滝川町；1 ex 19910428 守山区東谷山；1 ex 19990503 昭和区八事本町興正寺；1 ex 20080429 昭和区八事本町興正寺

体長 6～7 (5.0～7.3) mm。頭部は前頭隆起（黒色）と頭頂（青緑色）を除いて黄褐色（写真29b）。食草：クワ・ヤマノイモ・コウゾ（クワ科）等。分布：北海道・本州・四国・九州等の他，朝鮮半島・シベリア東部・中国に分布する。

30 キアシヒゲナガアオハムシ *Clerotilia flavomarginata*

標本：1 ex 20110708 千種区東山公園（写真30）

体長 4 (4.3～5.8) mm。食草：ネコノチチ（クロウメモドキ科）・クマヤナギ等。分布：本州・四国・九州・中国。

31 フタスジヒメハムシ *Medythia nigrobilineata*

標本：1 ex 19770719 瑞穂区春山町；2 ex 19900922 昭和区滝川町（写真31）

体長 2.5～3 (3.0～3.4) mm。ダイズなど，マメ科の害虫として知られる。分布：北海道・本州・四国・九州等の他，朝鮮半島・中国東北部・シベリアに分布する。

ノミハムシ亜科 Subfamily Alticinae

ノミハムシ亜科は，後脚腿節に跳躍器官（モーリック器官）を持っており，脛節伸長腱に蓄えたエネルギーを放出することによって跳躍して敵から逃れる^{4,5)}。

32 アラハダトビハムシ *Zipangia lewisi**

標本：1 ex 20090921 昭和区滝川町（写真32）

『愛知県の昆虫』¹⁾によると，三河地方からの記録はあるが，尾張地方の記録はない。体長 2 (2.0～3.2) mm。食草：ガマズミ等。分布：本州・四国・九州・中国。

33 サメハダツブノミハムシ *Aphthona strigosa**

観察・写真撮影：2 ex 20100509 昭和区八事本町興正寺（写真33）

標本：1 ex 20110818 昭和区八事本町興正寺

『愛知県の昆虫』¹⁾には，名古屋市からの記録はない。体長 2 (1.8～2.3) mm。上翅表面はくすんだ艶消し，「鮫肌」状。肢は黄褐色で，後脚腿節は黒褐色。東山公園や興正寺において，アカメガシワ葉上で普通に見られる。食草：アカメガシワ。分布：本州・四国・九州等の他，中国・台湾・ベトナム・インドネシアに広く分布する。

34 オオバコトビハムシ *Longitarsus scutellaris**

標本：1 ex 19960924 緑区大高緑地公園；1 ex 20090921 昭和区滝川町（写真34）

『愛知県の昆虫』¹⁾には，名古屋市からの記録はない。体長 1.5 (1.5～2.0) mm。食草：オオバコ。分布：北海道・本州・四国・九州等の他，朝鮮半島・サハリン・シベリア・モンゴル・中国・台湾・ヨーロッパに広く分布する。

35 キバネマルノミハムシ *Hemipyxis flavipennis**

観察・写真撮影：1 ex 20090523 千種区東山公園

標本：1 ex 20100515 千種区東山公園（写真35）；1 ex 20100603 千種区東山公園

『愛知県の昆虫』¹⁾には，名古屋市の記録はない。体長 5 (3.5～5.0) mm。食草：ネズミモチ（モクセイ科）。分布：本州・四国・九州等・中国南部。

36 ヒメドウガネトビハムシ *Chaetocnema concinnicollis**

標本：1 ex 19910720 昭和区隼人池公園（写真36）

『愛知県の昆虫』¹⁾には、尾張地方からの記録はない。体長1.5 (1.0~2.0) mm。体背面は銅金色・黒青色・紫青色の変異がある。肢は赤褐色で、後肢腿節は黒褐色。食草：メヒシバ・エノコログサ (ともにイネ科)。分布：北海道・本州・四国・九州等の他、朝鮮半島・中国・台湾・ベトナムに広く分布する。

37 ルリナガスネトビハムシ *Psylliodes brettehami*

標本：1 ex 19911103 昭和区滝川町 (昼間、集合住宅8階の自宅に飛来) (写真37)

体長3 (3.0~4.0) mm。体背面は藍色。食草：ナス・ジャガイモ・ホオズキ等。分布：本州・四国・九州等の他、朝鮮半島・中国・台湾・ベトナム・ミャンマー・ネパール・インド・フィリピン・マレー・インド・インドネシア・オーストラリアに広く分布する。

38 ルリマルノミハムシ *Nonarthra cyanea*

観察・写真撮影：20061123；20070321；20090429；20090628；20091103 (写真38)；
20100829 各1 ex 全て昭和区八事本町興正寺

標本：1 ex 19900817 昭和区南山町

体長3 (3.2~4.0) mm。腹部は赤褐色。食草：リョウブ等、各種の花。秋に採集した個体は、飼育下では翌年の春まで生存する。分布：北海道・本州・四国・九州等の他、朝鮮半島・中国・台湾・ベトナムに広く分布する。

トゲハムシ亜科 Subfamily Hispinae

本亜科は体背面の顕著な棘を特徴とする。

39 カタビロトゲハムシ *Dactylispa subquadrata*

標本：1 ex 20010430 昭和区八事本町興正寺；1 ex 20110604 千種区東山公園 (写真39a, 39b：腹面)

以前は「カタビロトゲトゲ」という和名が用いられた⁷⁾。体長5 (4.5~5.6) mm。頭部・胸部の腹面は黒色で、腹部は赤褐色、肢は赤褐色。食草：カシワ類。分布：本州・四国・九州等・中国。

カメノコハムシ亜科 Subfamily Cassidinae

本亜科は、亀の甲羅あるいは陣笠^{じんがさ}に似た頭・胸・腹を覆う装甲をまとい、外敵から保護している。

40 ヒメジンガサハムシ *Cassida fuscorufa*

標本：1 ex 20100629 千種区東山公園 (写真40a, 40b：腹面)

体長5.5~6 (5.5~6.2) mm。食草：ヨモギ。分布：北海道・本州・四国・九州等の他、朝鮮半島・中国・台湾に分布する。

41 ヒメカメノコハムシ *Cassida piperata*

標本：1 ex 19900815 昭和区滝川町；1 ex 19910519 昭和区滝川町；1 ex 19940824 昭和区八事本町；1 ex 19940918 昭和区八事本町 (写真41)；1 ex 20000514 昭和区八事本町興正寺

体長4.5~5 (5.0~5.5) mm。食草：イノコズチ (ヒユ科)・アカザ (アカザ科)・イヌビユ (ヒユ科) 等。分布：北海道・本州・四国・九州等の他、朝鮮半島・シベリア東部・中国・台湾・ベトナム・フィリピンに広く分布する。

42 セモンジンガサハムシ *Cassida versicolor**

観察・写真撮影：1 ex 20100417 千種区東山公園（写真42）

標本：20070519 千種区東山公園

『愛知県の昆虫』¹⁾によると、名古屋市の記録はない。体長5.5 (5.3~6.2) mm。小楯板後方にX字型黄色隆起条を有する。食草：サクラ・リンゴ・ナシ等。分布：本州・四国・九州等の他、シベリア東部・中国・台湾・ベトナム・ミャンマーに広く分布する。

43 イチモンジカメノコハムシ *Thlaspidia cribrata**

観察・写真撮影：1 ex 20020609 昭和区八事本町興正寺（幼虫，写真43a）；1 ex 20070430

昭和区八事本町興正寺；1 ex 20100509 昭和区八事本町興正寺（写真43b）

標本：1 ex 19980720 昭和区八事本町；1 ex 20000514 昭和区八事本町興正寺；1 ex 20070629 千種区東山公園

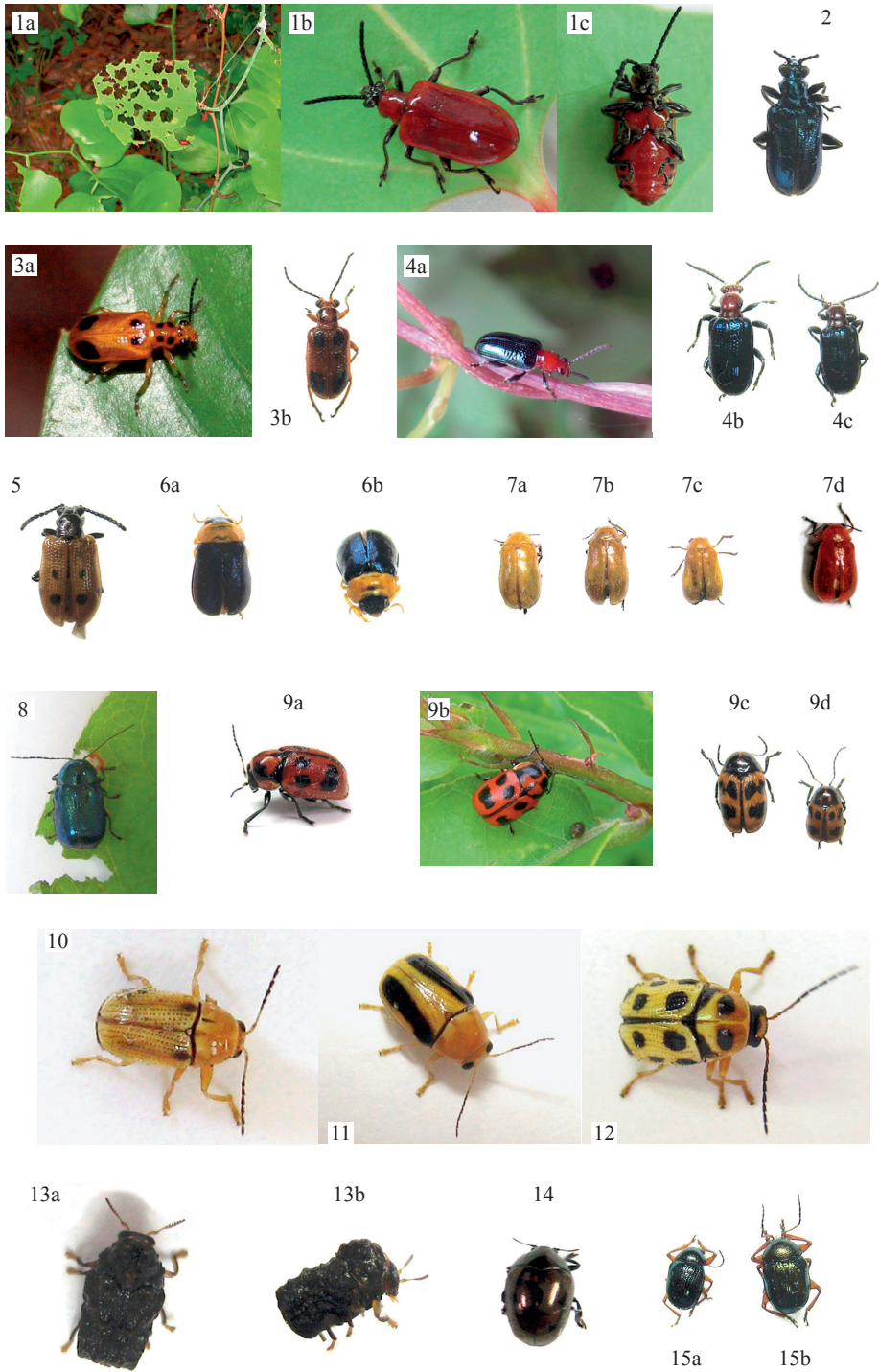
東山公園や興正寺では普通に見られるが、『愛知県の昆虫』¹⁾には名古屋市の記録がない。体長7~8.5 (7.8~8.5) mm。食草：ムラサキシキブ・ヤブムラサキ（ともにクマツヅラ科）。分布：本州・四国・九州等の他、朝鮮半島・中国・台湾・ラオス・ミャンマー・インドに広く分布する。

ま と め

名古屋市内で観察・採集したハムシ科43種を記録した。このうち、アカクビナガハムシ *Liliocerus subpolita*、キベリクビボソハムシ *Lema adamsii*、タテスジキツツハムシ *Cryptocephalus nigrofasciatus*、カシワツツハムシ *Cryptocephalus scitulus*、ジュウシホシツツハムシ *Cryptocephalus tetrascapellatus*、ツバキコブハムシ *Chlamisus lewisii*、ヒメキバネサルハムシ *Pagria signata*、マダラアラゲサルハムシ *Demotina fasciculata*、ケブカサルハムシ *Lypesthes lewisii*、アラハダトビハムシ *Zipangia lewisi*、サメハダツブノミハムシ *Aphthona strigosa*、オオバコトビハムシ *Longitarsus scutellaris*、キバネマルノミハムシ *Hemipyxis flavipennis*、ヒメドウガネトビハムシ *Chaetocnema concinnicollis*、セモンジンガサハムシ *Cassida versicolor*、イチモンジカメノコハムシ *Thlaspidia cribrata* の16種については、『愛知県の昆虫』¹⁾には名古屋市からの記録がなかったものである。

文 献

- 1) 愛知県昆虫分布研究会：愛知県の昆虫(上) 愛知県 1990
- 2) 木元新作，滝沢春雄：日本産ハムシ類幼虫・成虫分類図説 東海大学出版会 1994 (ISBN4-486-01287-9)
- 3) 林匡夫，森本桂，木元新作編：原色日本甲虫図鑑(Ⅳ) 保育社 1984
- 4) 週刊朝日百科 動物たちの地球80 昆虫7 テントウムシ・カミキリムシほか 朝日新聞社 1993
- 5) 石井実，大谷剛，常喜豊編：日本動物百科10 昆虫Ⅲ 平凡社 1998 (ISBN4-582-54560-2)
- 6) 白田明正，岡田正哉，穂積俊文，安藤尚，蟹江昇：なごやの昆虫 名古屋昆虫館 1989
- 7) 日本甲虫学会編：原色日本昆虫図鑑(上) 甲虫編 増補改訂版 保育社 1965



名古屋東山周辺の昆虫相

